



寄贈の様子

TOPIC

新横浜公園にAED搭載バイクを寄贈 ～オートトレーディングルフトジャパン～

11月15日、日産スタジアムのフィールドにおいて、AED（自動体外式除細動機）搭載電動バイクの寄贈式が行われた。これはオリジナル車輦の販売などを手掛ける、オートトレーディングルフトジャパン（名古屋市中千種区）がCSR活動の一環として、新横浜公園に「AED搭載電動バイク『AT-ES1』AED・SP」を寄贈したものである。

新横浜公園には、すでに12台のAEDが設置されている。しかし、今年に入り草地広場や第3レストハウスができたことにより、ウォーキングやランニングでの利用者が増加したため、緊急時において管理事務所と広大な園内をいち早く移動する手段が求められていた。オートトレーディングルフトジャパンの南原竜樹代表取締役は「突然倒れた時に『あの時、AEDがあれば』というところで、何かお役に立てないかということを考え、今回に至った。ぜひ有効に使ってほしい」と話した。寄贈された新横浜公園の大嶋邦佳副場長は「小回りの利くバイクでAEDが運べるということは、施設、

利用者にとっても安心できる。緊急時にAEDを早く届けるのは管理体制の中でも重要なこと」と述べ、南原氏に感謝状を授与した。

万が一、心肺停止状態に陥った人がいた場合、どれだけ早く応急処置を行えるかは人命にかかわる大きな課題である。

寄贈式の会場となった日産スタジアムは、今年8月に急性心筋梗塞により34歳で早逝した故・松田直樹選手がかつて活躍していた場所。松田選手が倒れた時の練習グラウンドにAEDが常備されていれば、状況は変わっていたかもしれない。この事態を受け、サッカー界だけではなく、さまざまな施設にAEDを設置する動きが広まっている。

また、AT-ES1は電気力で走るため、CO₂の排出がゼロであり環境面にも配慮されている。車種区分は原付1種で、重量87kg、1回約8時間の充電で走行距離は約45kmである。

なお、同社では、今回の新横浜公園のように、全国の体育施設で同製品の常備を提案したいと、引き続き普及に力を注いでいる。



新たなるECO領域へ 「AT-ES1」誕生

電気の子カラで走るためCO₂排出ゼロ 環境に配慮した電動スクーター



- 寸法(長さ×幅×高さ):1800×680×1020mm ●ホイールベース:1285mm ●最低地上高:110mm
- 重量87kg ●ブレーキ(フロント/リア):110mm径ドラム式/ドラム式 ●タイヤ空気圧(フロント/リア):250kPa
- ホイールハブ径(フロント/リア):2.5×10inch/2.5×10inch ●モーター:600Wブラシレス
- タイヤ(フロント/リア):16×3.0inch/16×3.0inch ●コントローラー:12tube
- バッテリー(注1):鉛酸バッテリー、48V20AH ●充電器:48V3A ●充電時間(注2):8時間(ほぼ空の状態の場合)
- 最高速度:40km/h未満 ●1回の充電当たりの走行距離(注3):45km以上 ●登坂能力:10度未満(注4) ※30km/h平地走行時

注1)充電回数:約500回(※保証値ではありません)
注2)バッテリーの残量が30-50%の場合は約4-6時間
注3)弊社テスト値:30km定速・平地走行の場合(走行速度、道路の状態により変わります)
注4)乗車重量55kgにての弊社テスト値(登坂能力は、乗車重量、バッテリー残量等によって変わります)

定価:98,000円(税込:102,900円)

オートトレーディングルフトジャパン(株) TEL:052-745-8173 Mail:at1_info@at1-direct.co.jp URL:www.autotrading.co.jp